

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**武田薬品工業株式会社**（証券コード:4502）

## 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付（期限付劣後債）	A-
国内CP格付	J-1

## ■格付事由

- (1) 日本を代表する製薬会社。19年のShire plc（シャイアー社）の買収によって業容を拡大し、医療用医薬品の売上収益は世界10位。オンコロジー、希少遺伝子疾患および血液疾患、ニューロサイエンス、消化器系疾患の4つの疾患領域と血漿分画製剤、ワクチンの2分野に経営資源を集中している。世界約80か国・地域で事業を展開し、グローバルな研究開発および販売体制を構築。売上収益は日米欧を中心に比較的バランスが取れている。
- (2) シャイアー社買収後の事業運営は順調である。薬剤費抑制策の強まりなど事業環境は厳しいが、主力製品の販売は堅調であり、シャイアー社とのコストシナジーも得られている。今後、研究開発費を積み増しても、中期的に現状程度のキャッシュフロー創出力を維持できよう。また、ノン・コア資産の売却など有利子負債の削減が進んでおり、財務構成はJCRの想定に沿った形で改善している。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 22/3期会社計画の売上収益は3兆3,700億円（対前期比5.4%増）、営業利益から非経常的な項目を除外したCore営業利益は9,300億円（同3.9%減）である。適応症や販売地域の拡大につれて、潰瘍性大腸炎治療剤をはじめとする14のグローバルブランドの多くが伸長する見通しであり、収益基盤は安定している。22/3期中に多数の新規候補物質が申請、承認される可能性があり、これらを通じて売上収益を底上げし、キャッシュフロー創出力を高めていけるかが注目点となる。
- (4) 21年3月末の親会社の所有者に帰属する持分は5.4兆円、親会社所有者帰属持分比率は42.0%である（いずれも劣後債の資本性考慮後）。のれんと無形資産は7.9兆円に上るが、これらの減損リスクに対し一定のバッファを有している。また、経営陣の財務改善に対する意志は強く、大きな支出を伴うM&Aなどが起きる可能性は小さいと考える。当社はノン・コア資産の売却を計画通りに進め、有利子負債を削減してきた。今後も純有利子負債/調整後EBITDA倍率は改善基調で推移するとJCRではみている。

（担当）本西 明久・佐藤 洋介

## ■格付対象

発行体：武田薬品工業株式会社

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	5,000億円	2019年6月6日	2079年6月6日	(注)	A-

(注) 発行から2024年10月の利払日までは年1.72%。その翌日から2029年10月の利払日までは6ヵ月ユーロ円ライポに1.75%を加えた値、その翌日から2044年10月の利払日までは6ヵ月ユーロ円ライポに2.00%を加えた値、その翌日以降は6ヵ月（ただし2079年4月の利払日の翌日から満期償還日までは2ヵ月）ユーロ円ライポに2.75%を加えた値

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年5月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「医薬品」(2011年12月7日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 武田薬品工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であってもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル